

製造業のための不正会計リスクと IT 利用監査

～ 不正会計発見のためのデータ分析のアプローチ、
着眼点及び手法について、具体例により解説 ～

《開催要領》 ※講師とご同業の方のご参加はお断りする場合がございます。※最少催行人数に満たない場合、開催中止とさせていただきます。

日時▶ 2019年 10月 8日(火) 13:30~17:30

会場▶ 企業研究会セミナールーム (東京: 麹町)

《ご参加頂きたい方》

内部監査部門、監査役(監査役室)、情報システム部門、総務・法務部門他のスタッフ、マネジャーの方々

法政大学経営大学院 イノベーション・マネジメント研究科教授

講師 公認会計士・システム監査技術者 石島隆 氏

講師紹介

1980年、中央大学商学部卒業。83年、公認会計士登録。監査法人サンフ東京丸の内事務所(現有限責任監査法人トーマツ)、㈱オービックビジネスコンサルタントを経てセンチュリー監査法人(現 EY 新日本有限責任監査法人)入所。98年、代表社員。2003年、大阪成蹊大学現代経営情報学部(現マネジメント学部)助教授。この間、日本公認会計士協会情報システム委員会(現 IT 委員会)委員、経済産業省・企業の IT 統制に関する研究会委員等を歴任。07年より現職。03年より三栄源エフ・エフ・アイ㈱社外監査役、10年より㈱浅沼組社外監査役、アルテ監査法人パートナー、12年より金融庁契約監視委員会委員、日本金融監査協会事務局長、17年より東横信用金庫非常勤理事等を兼務。著書に『情報システムの内部統制』中央経済社、『ITのリスク・統制・監査』(共著)同文館出版 他。各種団体等での講演、セミナー実績多数。

《申込方法》 当会ホームページ (https://www.bri.or.jp) からお申し込み下さい。

企業研究会Q 検索

■受講料: 1名(税込・資料代含) ※申込書をFAXでご送頂いたく際は、ご使用のFAX機の使用状況(0発信の有無など)をご確認の上、FAX番号をお間違えないようご注意ください。

正会員	35,200円(本体価格 32,000円)	一般	38,500円(本体価格 35,000円)
-----	-----------------------	----	-----------------------

191517-0202 製造業のための不正会計リスクと IT 利用監査

ふりがな 会社名			
住所			
TEL	FAX		
ふりがな ご氏名	所 役	属 職	
E-mail			

※申込書にご記入頂いた個人情報は、本研究会に関する確認・連絡および当会主催事業のご案内をお送りする際に利用させていただきます。

■申込・参加要領 : 当会ホームページからお申込みください。FAX、または下記担当宛 E-mail からもお申込み頂けます。後日(開催日1週間~10日前までに)受講票・請求書をお送り致します。

※よくあるご質問(FAQ)は当会HPにてご確認ください。(「TOP」→「公開セミナー」→「よくあるご質問」)

※お申し込み後のキャンセルはお受け致しかねますので、ご都合が悪くなった場合、代理出席をお願いします。

■お申込・お問合わせ先: 企業研究会 セミナー事業グループ 担当/民秋 E-mail: tamiaki@bri.or.jp
TEL: 03-5215-3514 FAX: 03-5215-0951 〒102-0083 東京都千代田区麹町 5-7-2 MFPR 麹町ビル 2F

・プログラム・

【開催にあたって】

内部統制報告制度の導入後も、我が国の製造業における不正会計事例が散見されます。不正会計は、金銭の着服と粉飾決算に大別されますが、今回は粉飾決算を主な対象にします。本セミナーでは、まず、製造業における不正会計リスクと不正会計事例を解説した上で、海外子会社における不正会計事例を解説します。次に、IT 利用監査とデータ分析の手法について説明した上で、不正会計発見のためのデータ分析のアプローチ、着眼点及び手法について、具体例により解説します。是非この機会に関係各位の積極的ご参加をおすすめいたします。

1. 製造業の不正会計リスクと不正会計事例

- (1) 製造業の不正会計リスクとその類型
- (2) 販売プロセスにおける不正会計事例
- (3) 購買・在庫プロセスにおける不正会計事例
- (4) プロジェクト型事業における不正会計事例
- (5) 決算プロセスにおける不正会計事例

2. 製造業の海外子会社における不正会計事例

- (1) 海外子会社の管理体制とモニタリング体制
- (2) 海外販売会社における不正会計事例
- (3) 複雑な取引を用いた不正隠蔽事例
- (4) リース取引における不正会計事例

3. IT 利用監査とデータ分析の手法

- (1) IT 利用監査のプロセス
- (2) IT 利用監査ツールの機能
- (3) データ分析の体系と対象データの特長

4. 不正会計発見のためのデータ分析の手法

- (1) 不正発見のための着眼点とデータ分析の手法
- (2) 物品・サービスの流れとキャッシュフローの 対応関係に着目したデータ分析の手法
- (3) 決算プロセスにおける着眼点とデータ分析の手法

<質疑応答>

※最少催行人数に満たない場合、開催中止となる場合がございます。

裏面もご覧下さい! 一枚のパンフレットで
2種類のセミナーをご案内しております。